

本積付要領書は、傾斜型積付架台（FSN-500AS 型、又は、FSN-700AS 型）への内部収容型膨脹式救命浮器 FRN-AS-15G 型, FRN-AS-50 型, FRN-AS-84 型の積付作業に適用する。

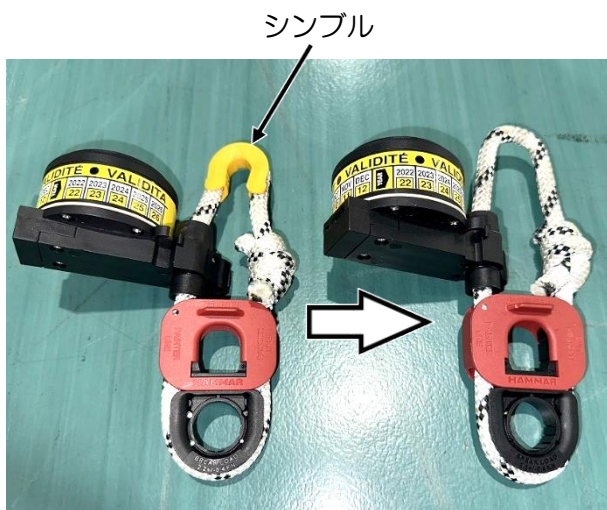
① 自動離脱装置の有効期限を表示する。



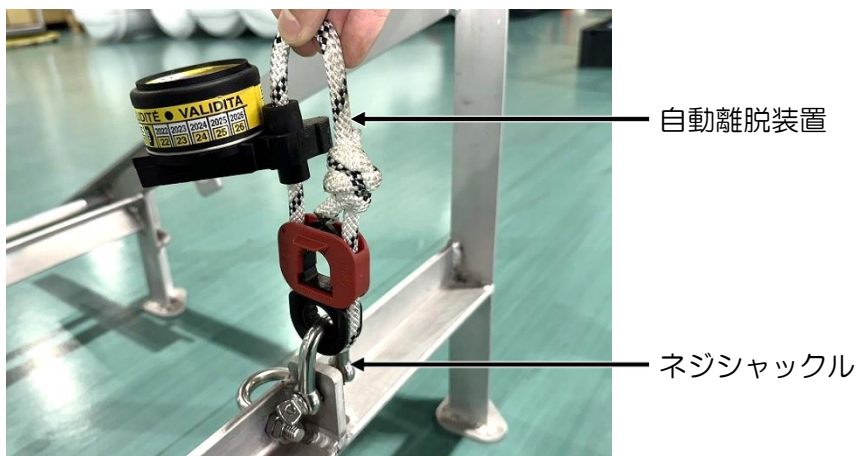
注意

ナイフ等を使用し、自動離脱装置の有効期限の年月を示すラベルを注意深く削り取る。
自動離脱装置の有効期間は、船舶に取付後2年間である。
写真は例示であり、自動離脱装置の有効期限は、2016年2月である。

② 自動離脱装置からシンプルを取り外す。



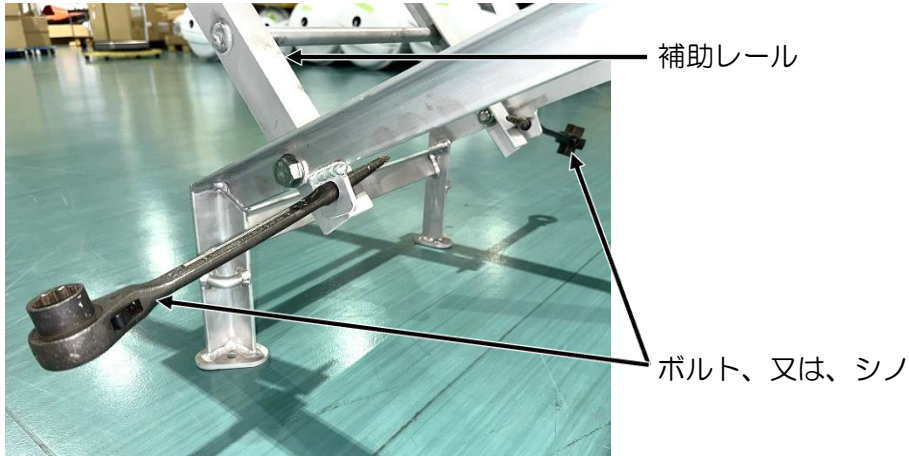
③ ネジシャックルを介して、傾斜型積付架台の背面に自動離脱装置を取り付ける。



注意

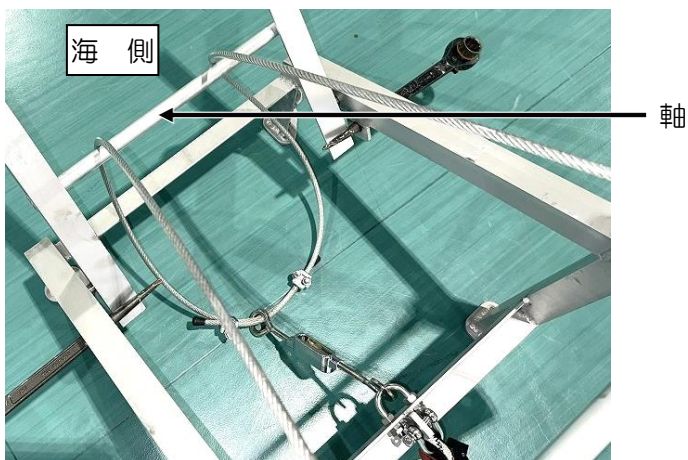
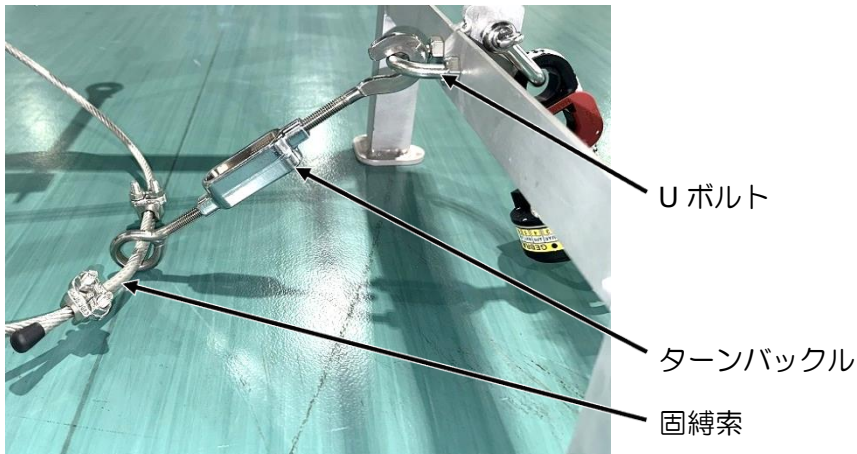
自動離脱装置の取付向きは、写真の通りとする。
これを遵守しなければ、イージーリリースの安全ピンを容易に引き抜けない恐れがある。

- ④ 補助レールを起こし、積付用セットピン孔にボルト、又は、シノを挿入する。

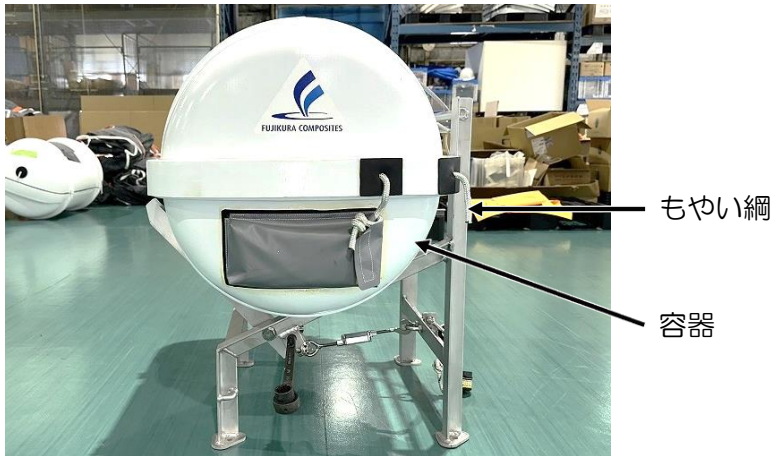
**注意**

両方の積付用セットピン孔にボルト、又は、シノを挿入する。
これを遵守しなければ、容器の誤落下を招く恐れがある。

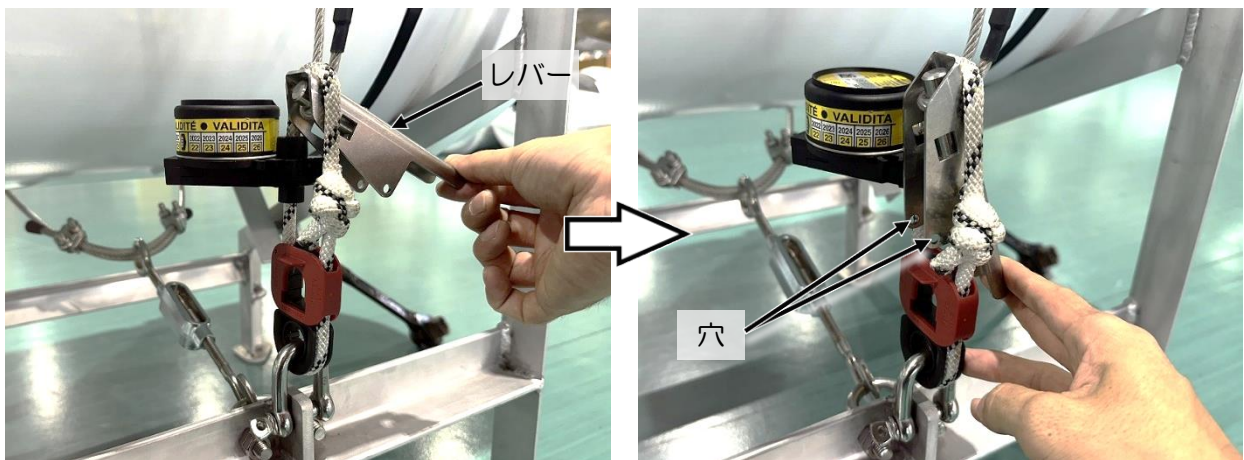
- ⑤ Uボルトに固縛索のターンバックルを引っ掛ける。固縛索は、補助レールの軸の海側方向を通す。



- ⑥ 傾斜型積付架台に容器を水平にして搭載する。容器は、傾斜型積付架台の背面から向かって、もやい綱を左側に位置させる。



- ⑦ 自動離脱装置のロープにイーザーリリースのレバーの先端を挿入し、穴部分が自動離脱装置のロープの輪に通るまでレバーを引き下げる。



- ⑧ イーザーリリースのレバーの穴に安全ピンをしっかりと奥まで挿入する。



注意

安全ピンの挿入向きは、写真の通りとする。
これを遵守しなければ、イーザーリリースを操作した際に怪我を招く恐れがある。

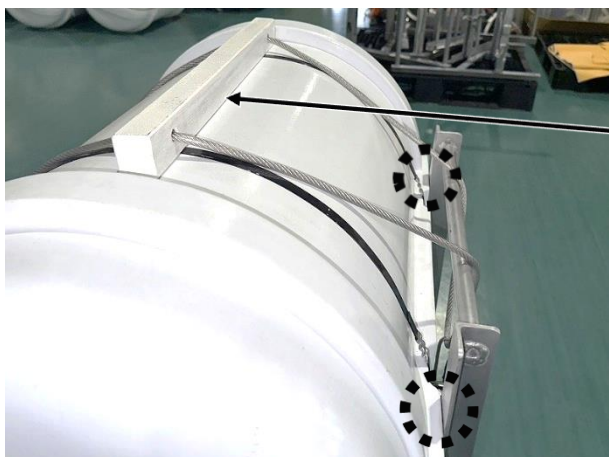
- ⑨ 傾斜型積付架台の背面の支柱に容器を引き寄せ、片手でターンバックルを締める。



注意

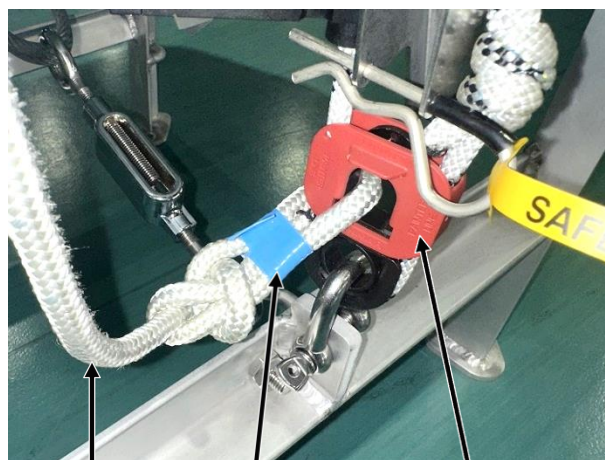
モンキーレンチ等の工具を使用して、ターンバックルを締めてはならない。
これを遵守しなければ、傾斜型積付架台の損傷を招く恐れが有る。

- ⑩ 傾斜型積付架台の背面の支柱と容器に間隙が無く、容器の頂部に固定木板が位置していることを確認する。



固定木板

- ⑪ 容器からもやい綱を引き出し、自動離脱装置のウィークリンクにもやい結びで結び、結び目をテープで留める。



もやい綱

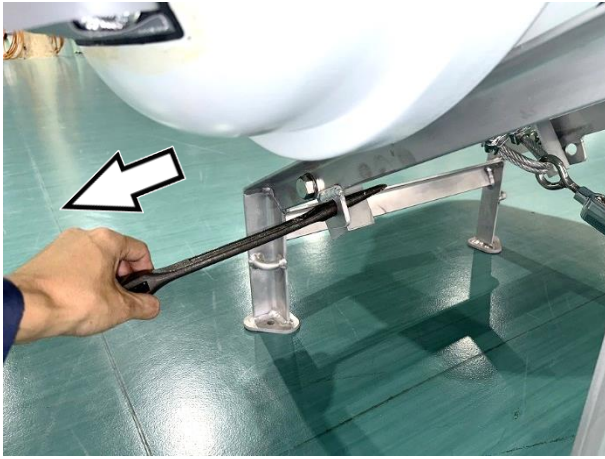
テープ

ウィークリンク

注意

もやい綱の経路は、写真の通りとする。
これを遵守しなければ、容器の投下時にもやい綱の損傷を招く恐れが有る。

- ⑫ 積付用セットピン孔からボルト、又は、シノを抜き取る。



注意

両方の積付用セットピン孔からボルト、又は、シノを抜き取る。
これを遵守しなければ、傾斜型積付架台を作動させることができない恐れがある。

- ⑬ 積付作業が完了。



以上